

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公開番号】特開2012-132346(P2012-132346A)

【公開日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2010-284046(P2010-284046)

【国際特許分類】

F 04 C 18/02 (2006.01)

【F I】

F 04 C 18/02 3 1 1 M

F 04 C 18/02 3 1 1 F

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月18日(2013.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

端板上の渦巻壁を形成する固定スクリール部材と、

この固定スクリール部材と噛合し、圧縮室を形成すると共に基板上に渦巻壁を形成する旋回スクリール部材と、

この旋回スクリール部材を公転させ、少なくとも偏心軸とブッシュと、自転防止機構とを備えた公転機構と、

この公転機構に回転力を与える駆動軸とより成るスクリール型圧縮機において、前記ブッシュに貫通孔を形成すると共に、前記駆動軸の端面にあって軸方向に嵌合孔を形成し、

前記偏心軸を頭部付偏心軸とし、この頭部付偏心軸を前記ブッシュの貫通孔に挿入した後に、前記嵌合孔へ圧入したことを特徴とするスクリール型圧縮機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

この発明に係るスクリール型圧縮機は、端板上の渦巻壁を形成する固定スクリール部材と、この固定スクリール部材と噛合し、圧縮室を形成すると共に基板上に渦巻壁を形成する旋回スクリール部材と、この旋回スクリール部材を公転させ、少なくとも偏心軸とブッシュと、自転防止機構とを備えた公転機構と、この公転機構に回転力を与える駆動軸とより成るスクリール型圧縮機において、前記ブッシュに貫通孔を形成すると共に、前記駆動軸の端面にあって軸方向に嵌合孔を形成し、前記偏心軸を頭部付偏心軸とし、この頭部付偏心軸を前記ブッシュの貫通孔に挿入した後に、前記嵌合孔へ圧入したことを特徴としている(請求項1)。